

令和6年9月18日発行

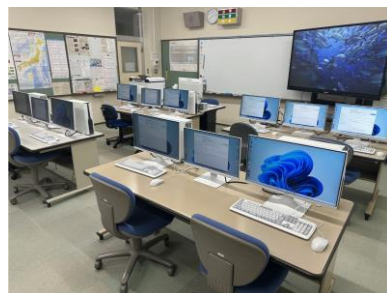
栃木県立聾学校

第1号

栃聾 ICT 通信

はじめに

栃聾情報係です。今回この「栃聾 ICT 通信」で、授業でどのように ICT 機器が活用されたり、子どもたちはどのように ICT 機器を使って学習したりしているのか等、ICT に関連する様々なことについての情報をお伝えします。



パソコン室の端末が更新されました。将来の仕事で必要となるオフィスアプリの操作や、プログラミング等の学習環境が整備されました！



第23回栃木県障害者技能競技大会（とちぎアビリンピック）に向けて、Excel と ACCESS を練習し、表計算部門とデータベース部門に高等部生徒が参加しました！

DX ハイスクール採択校になりました！

栃木県立聾学校が、文部科学省の DX ハイスクール(高等学校 DX 加速化推進事業) 2024 年度の採択校になりました。

（文科省報道発表より）DX ハイスクールとは、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICT を活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校などに対して、必要な環境整備の経費を支援するものです。

今後、XR デバイスやレーザーカッター、ドローンなど高性能の ICT 機器を随時購入し、それを活用した学習活動に取り組んでいきます。



文部科学省資料：2040 年の未来予測より

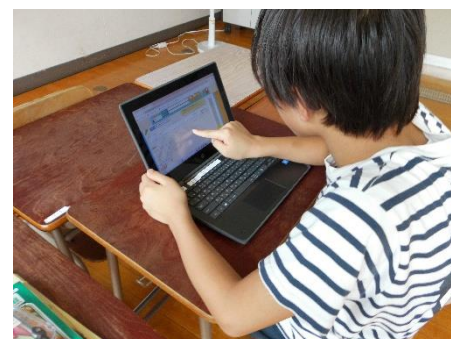
誰でも、いつでも、どこでも、個人の能力・興味に合わせた学びに対応できるデジタル環境のイメージ図

「すららドリル」で基礎学力の向上を

今年度も児童生徒の基礎学力の向上に向けて、AI 型学習ドリル「すららドリル」を活用しています。毎週金曜日に、担当教師より小学部以上の児童生徒に問題を配信しています。各児童生徒が、学校からの宿題や課題などと調整をしながら取り組めるように提出は任意としています。

復習に重点を置いて、小学生の内容から取り組んでおり、間違っただけ所については担当教師から補足説明をしています。また、配信する問題の数は、児童生徒が問題を開いた時に「問題が多過ぎて嫌！」などと消極的にならないように6問以内で配信しています。今後は、児童生徒の習熟度などに応じて問題の内容を変えていく予定です。

これからは、一人一人が自分に合ったやり方を選び、自分に必要な学びをつくっていく力（「個別最適な学び」を「自己調整」する力）が必要だとされています。配信問題をきっかけに、自分の得意な教科をさらに伸ばしたり、苦手な教科の対策をしたり、学習ゲームを楽しみながら復習をしたりなど自分に合ったやり方を試しながら学習を継続してほしいと思います。



タブレットで「すららドリル」にログインすると、配信された課題の一覧が出ます。小学校から高校までの各学年や教科、分野等を自分で選択し、取り組むことができます。学習時間や間違えた問題などが記録され、自分の学習成果が確認できます。

ICT を活用した取組

幼稚部の保育では



幼稚部では、朝の会などの保育場面や、帰りの会の前に保護者のみなさんに保育の様子をお知らせする場面などに ICT を活用しています。幼児の興味関心を引き出したり、保育の様子を分かりやすく伝えたりするよいツールとなっています。

分かる授業づくり（音楽編）



音楽の授業では、動画やパワーポイントなどの視覚教材を使って音のリズムや旋律などを理解しやすくしたり、聞こえにくさを補うためにロジャー（補聴援助システム）と電子ピアノや音楽プレーヤーを接続したりするなど ICT を活用した工夫をしています。

情報モラルの学習



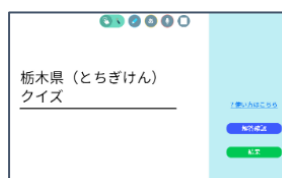
ICTを扱ううえでは欠かせない情報モラルの学習も学部段階や児童生徒の実態に合わせて行っています。この写真は、中学部でゲーム機やスマートフォンの使い方について学習しているところです。自分の実際の使用方を振り返ったり、アニメの動画を活用してパスワード設定の大切さなどについて学びを深めたりしています。

生成 A I を活用した学習



教材研究や校務に生成 AI を活用する教員も出てきました。授業にも少しずつ取り入れています。今回は「Canva」を使って、個人研究のパワーポイントを作成しました。「自己紹介」と検索し、出てきた中から良いと思ったものをダウンロードして、画像を変えたり、言葉を入力したりして、発表資料を作り上げました。

ロイロノート教員研修



夏季休業中に試験導入している「ロイロノート」の職員研修が実施されました。ロイロノートは、教材の提示はもちろんクイズ形式の学習やテスト、アンケート、意見の集約などにも活用できる便利なアプリです。今回は、ロイロノートの基本的な使い方や、「栃木県クイズ」を例にして選択式・記述式の問題の作り方などを学びました。参加者がその場で実際に解答することで、実際の活用方法を体験できました。各教科や避難訓練の振り返り、アンケートなどですでに活用が始まっていますが、学びを深めるツールとしてさらに使用の幅を広げていきたいと思っています。